

ぞうのはな

1年 せつめい文 13ばん

なまえ

ぞうのはなは、とてもながいです。ぞうは、このはなでいろいろなことをします。

水をのむときは、はなで水をすいこみます。そして、その水を口にはこびます。

木のえだにはなをまきつけて、たぐりよめます。えだのはっぱをとって、たべることもできます。

はなですなをせなかにかかけます。あつい日ざしからだをまもるのです。

ぞうのはなには、ほねがありません。だから、まがつたりのびたりして、じゆうにうごくのです。

(1)「たぐりよめます」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ぽきんとおってしまえます

イ とおくへおしやります

ウ じぶんのほうへひっぱってきます

(2) ぞうのはながじゆうにうごくのは、なぜですか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア はなにほねがないから

イ はながとてもおもいから

ウ はながみじかいから

(3) ぞうは、すなをかけて、なにかからだをまもりますか。「から」のまえまでをぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) ぞうは、はなをつかって、どのように水をのみますか。かきましよう。

かきかたのヒント
二つ目のだんらくを見てみよう。
することをじゅんばんに二つかく。

ぞうのはな

こたえ

1年 せつめい文 13ばん

なまえ

ぞうのはなは、とてもながいです。ぞうは、このはなでいろいろなことをします。

水をのむときは、はなで水をすいこみます。そして、その水を口にはこびます。

木のえだにはなをまきつけて、たぐりよめます。えだのはっぱをとって、たべることもできます。

はなですなをせなかにかけます。あつい日ざしからだをまもるのです。

ぞうのはなには、ほねがありません。だから、まがつたりのびたりして、じゆうにうごくのです。

(1)「たぐりよめます」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ぽきんとおってしまえます

イ とおくへおしやります

ウ じぶんのほうへひっぱってきます

(2) ぞうのはながじゆうにうごくのは、なぜですか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア はなにほねがないから

イ はながとてもおもいから

ウ はながみじかいから

(3) ぞうは、すなをかけて、なにかからからだをまもりまうか。「から」のまえまでをぶんしょうからかきぬきましょう。

あ つ い 日 ざ し

(4) ぞうは、はなをつかって、どのように水をのみまうか。かきましよう。

(れい) はなで水をすいこんで、口にはこび。

かきかたのヒント
二つ目のだんらくを見てみよう。
することをじゅんばんに二つかく。

解答・解説 ぞうのはな（1年・せつめい文）

もん 問1 ウ

三つ目の だんらくに「木の えだにはなを まきつけて、たぐりよせます」と かいて あります。えだを じぶんの ほうへ ひっぱって くる ことです。

もん 問2 ア

五つ目の だんらくに「ほねが ありません。だから、……じゆうに うごくのです」と かいて あります。

もん 問3 あつい 日ざし

四つ目の だんらくに「あつい 日ざしから からだを まもるのです」と かいて あります。

もん 問4 （れい）はなで 水を すいこんで、口にはこぶ。

二つ目の だんらくに「はなで 水を すいこみます」「その 水を 口にはこびます」と かいて あります。すいこむ ことと、口にはこぶ ことの 二つが かけて いれば ○です。